



○漢代五言詩歌史に関わる研究

人間文化学部 国際文化学科

柳川 順子（やながわ じゅんこ）

連絡先 県立広島大学 広島キャンパス 1713号室
Tel 082-251-9843 Fax
E-mail yanagawa@pu-hiroshima.ac.jp
URL

専門分野： 中国学 中国古典文学

キーワード： 五言詩、歌謡、宴席、『三国志』、建安文壇

●研究内容

（1）五言詩は、『三国志』の英雄として知られる曹操の時代（3世紀初め、後漢の建安年間）、突如として盛んに作られるようになり、その後、知識人たちが自らの志を詠ずる文学様式として、中国歴代の人々によって継承されていきましたが、それほど重要な文学ジャンルでありながら、その来源はいまだ明らかとなっておりません。私の研究テーマは、この五言詩という詩型が、いつ頃、どのような場で生まれ、どのような経緯を経て、中国文学の主要ジャンルに定着していったのかを解明することです。

五言詩の祖として、漢代詠み人知らずの「古詩」がありますが、従来は、その成立年代を後漢時代後期と見る説が有力でした。これに対して私は、漢魏六朝時代の歴史的文献に基づきながら、次のような推論を立てています。

- ①数ある「古詩」の中でも、古来、別格視されてきたある特別な一群が存在する。
- ②その一群の「古詩」は、前漢王朝の後宮周辺において発生した可能性が高い。
- ③この一群の「古詩」は、後漢時代初めの頃には既に一まとまりの作品群として成立していたと推測される。
- ④「古詩」は、後漢時代を通じて、支配者階級の催す宴席において、音楽や舞踊などと共に娯楽的文芸として行われていた可能性が高い。

現在は、これらの推論の妥当性を検証しつつ、更に、次のような課題について、調査、考究しているところです。

- ①漢代の諸文献における「古詩」的表現の探索。
- ②漢代における宴席の歴史的展開状況と、そこに集った人々の流れを調査する。
- ③「古詩」との類似表現が顕著な李陵・蘇武詩について、その成立背景や時期を探る。
- ④建安文学、及びそれに続く魏晋の文学における漢代詩歌の継承状況を調査する。
- ⑤建安文学を企画した曹操（曹魏王朝の創始者）の思惑と、その歴史的意義を考察する。

●期待される成果と応用

建安文壇は、中国文学史上特筆すべき文学集団ですが、彼らが盛んに制作した詩歌の来源を明らかにすることによって、この画期的文学集団、及びこれを企画した曹魏王朝の根本的性格を、従来にはない視点から捉えなおすことができると期待されます。

●想定される連携先

- ① 中学校・高等学校（国語科）
- ② 図書館
- ③ 漢詩文に興味をお持ちの民間の方々